since 1960
三条金物卸商協同組合
―三条金物倶楽部―　ニュース速報
みんなで築こう三条の輪　そしてはばたけ金物卸

『人材育成事業報告会』

去る６月２７日(土)午後６時より日本料理小山屋にて、「人材育成事業報告会」が開かれました。
この人材育成事業報告会には三条市役所から三条市経済部商工課、渡辺課長と三条市経済部商工課、五十嵐係長を迎えての開催となりました。
はじめに長岡理事長から挨拶があり「我々組合は、平成２５年度、三条市からの支援事業で若手経営者の資質向上として、自社の事業の財務分析とマーケティング分析や、５年１０年先を見据えた経営戦略などを学びました。今回平成２６年度の支援事業において、人材を育成するために組合員として何を学んでいこうと考えた中、我々は商品を売り買いする中で商品の名前や価格は知っているが、実際どのようにして使われているか、またエンドユーザーにどのようにして使われているか、など商品の知識が不足しているのではと思いました。三条市は多くの製造事業所があるので、現場に足を運んで見てまわり

商品価値と知識を学び、他産地との差をつける事も重要な事だと考えました。
そこで、皮切りに包丁工場の現場を見てまわり、ものづくりの知識や感動などを直接、顧客へ伝える所まで学びました。また、現場まわり以外にも、商品を実際使う「ワークショップ」を行い、更に商品の知識を学びました。三条には包丁以外にも色んな刃物や鋏や作業工具など多くの製造事業所があります。今後は経営者以外にも営業の人間も含め、現場に足を運び商品の良さを引き出し、自分で学ぶのが本当の物売りだと思います。これからもこの事業を県央保険事務所の小林孝夫氏と共に取り組んでいきたいと思いますので、ぜひ今後もご支援・ご指導いただきたいと思います。」と述べられました。

長岡理事長

小林孝夫氏

続いて平成２６年度人材育成事業の概要と成果を小林孝夫氏より発表いただきました。
小林氏ははじめに、なぜ当組合の人材育成アドバイザーをお引き受けしたのか長岡理事長と話した経緯などを説明された後、次の順に説明されました。

１．事業目的

２．事業報告
(1)商品開発に必要な産地情報の収集・「包丁」事業所訪問
(2)三条製品「包丁」使い比べワークショップ開催
(3)製品安全セミナーの開催
(4)製品安全アワード受賞小売業との交流
(5)オムニチャネル等セミナー受講、展示会視察

３．今後に向けた課題と取組み

説明の中で小林氏は製造事業所訪問をして自分が感じたことなど話していただきました。
後半では、実際、包丁の製造事業所訪問へ行き、小林氏の作成した「商品の定義づけ聞き取り・確認シート」と「三条金物製造マップ入力フォーマット」を見せていただきました。これらの資料は、あと何度か工場訪問していく中で積み重ねて完成をさせ、それをデータベース化して情報公開できる様に我々と進めていきたいと話されました。
他にもＱＲコードをスマホで読み取り、１本の包丁の取扱説明書で、日本語版、英語版、中国語版から選び、スマホで読むことができる、「モバイル多言語トリセツ」の事例等、今後の販売戦略で有効になる資料を見せて頂きました。
小林氏の説明の後、中條副理事長より閉会の挨拶を頂き、会場を移して懇親会が開催されました。（キタ）

閉会の挨拶

懇親会の様子

乾杯の挨拶（渡辺課長）

中締め挨拶（柄澤副理事長）